

パブリックコメントの実施結果

▼ 案件名

「地域産業振興構想（案）」について

▼ パブリックコメント募集期間

平成30年10月1日（月曜日）～ 平成30年10月31日（水曜日）

▼ 意見等の提出状況

区分	持参	郵送	ファックス	Eメール	合計
人数（人）		1	1		2
項目（件）		3	1		4

パブリックコメントで寄せられた意見と市の考え方

※別紙「地域産業振興構想（案）」に対するご意見の概要と市の考え方のおり

▼ 施策（計画）等の制定のこれからのスケジュール（予定）

平成30年12月下旬（予定） 地域産業振興構想を制定

▼ 担当課（お問合せ先）

萩市産業戦略室（電話 0838-25-3351）

「地域産業振興構想（案）」に対するご意見の概要と市の考え方

「地域産業振興構想」は、「萩市基本ビジョン」が掲げる『暮らしの豊かさを実感できるまち』というめざすまちの姿に込められた「産業に活力があり、雇用が生まれ、人が集まり、元気なまちにしたい」という私たちの願いを実現する本市産業振興の指針としているため、具体的な取組に係るご意見等については、個別の事業を展開する中で検討していきます。

NO	ご意見の分野	ご意見の概要	市の考え方
1	基本方針Ⅰ 大地と海の恵みを未来へつなぎ、持続的で力強い農林水産業を推進する	土壌を使わない「野菜工場」といった先進技術を農業分野に導入や耕作放棄地を利用したドジョウの養殖事業、地元竹材を活用した林業加工品など一次産業への振興対策を。	本市の農業、漁業は地域外からお金を獲得する力のある産業であることから、本構想の基本方針Ⅰの中で林業を含めた「一次産業の稼ぐ力を伸ばす」ことを掲げ、例えばIoTやAI、ロボット等の新技術の導入などの取組を推進していくこととしております。 ご意見の内容は、構想に掲げる施策の方向性とも合致する内容と考えられますので参考とさせていただきます。今後、具体の施策を展開する中で、関係団体や農家等の意向も踏まえながら検討すると共に、市としては意欲ある農家等の新しい挑戦をしっかりと支援してまいります。
2	基本方針Ⅱ 受け継がれる技能・技術を新たな価値の創造につなぎ、個性がひかり、市場を勝ち取る事業を育てる	陸上風力発電など自然エネルギー事業の検討。	現在、市が、直接、大規模な自然エネルギー事業に取り組む計画はございません。 但し、全国的には再生エネルギーを産業振興の観点から積極的に活用している事例があることも承知しており、今後の検討課題としております。ご意見を参考にさせていただきます。
3	基本方針Ⅲ 「ゆったり・じっくり観光」といった滞在型・体験型の観光コンテンツの充実により、新たなまちの魅力を創る	美しい自然を見る、美味しいものを食べる、珍しいものを買うなどの楽しめる観光推進を。	宿泊業、飲食サービス業などの観光関連産業は、一次産業同様に本市が地域外からお金を獲得する力のある重要な産業であることから、本構想の基本方針Ⅲの中で「インバウンド誘致への対応」、「豊富な食資源等を活用した魅力の創出」を掲げ、滞在型・体験型の観光コンテンツの充実を図っていくこととしております。 ご意見の内容は参考にさせていただきます。「見る」「食べる」といった体験型コンテンツをはじめ、観光客にしっかりお買い物をしていただけるような「お土産」づくりなどにも取り組んでまいります。
4	基本方針Ⅱ 受け継がれる技能・技術を新たな価値の創造につなぎ、個性がひかり、市場を勝ち取る事業を育てる	域外収支のマイナスを減らし農水業や加工業の長年受け継がれた技能、技術の伝承に寄与し、活性化を図るためにも萩産食材を市内の保・小・中学校への学校給食に利用してはどうか。また、利用率向上を図るため使用頻度もしくは1食当たりの割合の数値目標を設定してはどうか。	基本方針Ⅱの「受け継がれる技能・技術を新たな価値の創造につなぎ、個性がひかり、市場を勝ち取る事業を育てる」に記載のとおり、長年にわたり蓄積された技能・技術を受け継ぎ、持続的な成長を支え未来に向けて挑戦する企業への支援に取り組めます。 また、ご意見にある萩産品食材の給食利用については、平成29年実績で47.6%（H17：20.6%⇒H29：47.6%）となっています。市や県、経済団体が構成される「萩地域農林業・農山村振興協議会」が定める萩市産を含む県産品食材の数値目標は72%（萩地域農林業成長産業化実行計画）となっており、本市としてはまずはこの達成に向けて関係機関と連携して、萩産品食材の更なる利用促進に努めてまいります。